

第45回全国高等学校選抜ホッケー大会

丹生高校男子が44年ぶり2回目の優勝！ 丹生高校女子がベスト8！

丹生高校男女ホッケー部 主将インタビュー



男子主将 近藤 辰徳さん

今回、同校での優勝でしたが、結果には満足しています。冬の間、チームでフィジカルトレーニングを積んだ成果を出すことができました。

天理高校との試合では、途中で逆転されたときには少し驚きました。でもこういった接戦の緊迫したゲームは、去年のインターハイ、国体で経験している分落ち着いてプレーすることができました。夏のインターハイに向けては、今回優勝したことにおごらず、普段どおりプレーして2連覇を目指します。



女子主将 上嶋 明日香さん

今回の結果は、すごく悔しかったです。2回戦が始まる前に、チームとしてゲームプランを作って試合に臨んだけれど、そのプラン通りにはいきませんでした。シュートチャンスやペナルティーコーナーのチャンスはたくさん作れましたが、それらを決め切れなかった事が勝敗を分けました。夏のインターハイに向けては、今回の反省を活かして、シュート精度の向上、ペナルティーコーナーの決定力をつけることを目標にして、今回の大会での悔しさをバネに良い結果を残せるようがんばりたいです。



優勝した丹生高校ホッケー部のみなさん

3月25日から30日まで、岐阜県各務原市で、第45回全国高等学校選抜ホッケー大会が開かれ、福井県からは丹生高校の男女2チームが出場しました。

男子は、初戦が岐阜各務野高校に9-1、2回戦が栃木県今市高校3-1と順調に勝ち進みました。準決勝の奈良県天理高校との対戦では3-2と勝利し、接戦になりながらも昨年の選抜王者を破りました。決勝での対戦相手は強豪の島根県横田高校となりましたが、大雨のため中止となり、丹生高校と横田高校の同校優勝となりました。

女子は、初戦に京都府の須知高校との試合を2-0で快勝しました。2回戦は強豪の岩手県沼宮内高校と対戦しました。前半を0-1と1点ビハインドで折り返し、後半に入ると追加点を決められ0-2。しかし果敢に攻め続け、久保選手がリバースヒットでシュートを決め1点を返しましたが、逆転には至らず1-2で破れ、ベスト8となりました。

試合結果

男子

1 回 戦	丹 生	9 - 1	各務野
2 回 戦	丹 生	3 - 1	今 市
準 決 勝	丹 生	3 - 2	天 理
決 勝	丹 生	-	横 田

決勝は大雨の為中止となり、同校優勝

女子

1 回 戦	丹 生	2 - 0	須 知
2 回 戦	丹 生	1 - 2	沼宮内

試合前の円陣



前線から、素早いプレッシャーをかける



スピードに乗ったカウンター攻撃